

## 「第8回北海道水道広域化推進プラン策定に関する検討会」におけるプランたたき台への主なご意見とその対応について

		主なご意見	対応
1	全体	・計画らしいものが掲載されていないため、タイトルからプランの名前を消すか、名前にプランと残すなら具体的な計画を記載した方が良いのでは。	・タイトルを「水道広域化推進プラン」としていましたが、「広域化」とすると従来の概念である「事業統合」をイメージさせ、またそれを固定化するものと誤解されるおそれもあることから、広域連携の多様な形態がイメージできるよう「水道広域連携推進プラン」に変更し、「持続可能な水道事業の運営に向けて」という副題を追加しました。
2	全体	・プランのローリングについて記載はしないのか。	・本編P.2「3 プランの構成など」に、計画期間について特に定めず、広域連携の具体的な取組内容が定まった段階で、必要に応じてプランに追加する旨を記載しました。
3	全体	・本編と資料編で内容がリンクしているので、資料編何ページ参照と明記しても良いのでは。	・資料編に該当するデータがある場合は本編に参照先のページ番号を記載しました。
4	現状分析・将来推計	・資料編P.38の圏域別流動比率で宗谷圏域の数値が異常に大きいため確認が必要では。	・確認したところ誤りではありませんでした。
5	シミュレーション	・ソフト連携シミュレーションの考察には、全ての項目について何かしら記載する方が良いかと思う。	・本編P.34～36にソフト連携シミュレーションの全項目に係る考察を記載しました。
6	シミュレーション	・昨年度実施したソフト連携についてのアンケート調査結果を掲載した方が良いかと思う。	・本編P.36及び資料編P.62～64にソフト連携に係るアンケート調査結果を掲載しました。
7	シミュレーション	・企業債残高も資金残高と同様にグラフ化し、広域連携のメリットが出ると伝えた方がわかりやすいと思う。事実上、借金が出ることをもっと押し出しても良いと思う。	・本編P.55に企業債残高のグラフを追加しました。 また、本編P.57に現状のまま推移すると将来的に借金（資金残高の不足額＋企業債残高）が多額となることを記載しました。
8	シミュレーション	・経営シミュレーションについて、結果をどう読み取れば良いのかわからないため、記載の方法を検討してほしい。	・本編P.53～56に経営指標ごとの結果と考察を記載しました。
9	シミュレーション	・給水原価は料金改定をしなかった場合の数値だと思うが、普通何も対策しないことはないのでは。この前提で資金残高が出ると記載するのもどうかと思う。	・経営シミュレーションの前提や結果を掘り下げて記載しました。
10	シミュレーション	・グラフ結果を見ると、広域連携を行っても大した効果は得られないと誰もが思うと考えるが、自分の支払う料金に置き換えてみるとそれなりに値上がりの幅が少なくなることから、生活実感に合うような議論をしてもらった方が良いかと思う。	・本編P.56「(ク) (参考) 資金不足を生じさせない供給単価」をお示ししているとともに、水道料金に例えた場合について記載しました。

		主なご意見	対応
11	シミュレーション	・市町村等によっては浄水場の余力が発生しない場合があり、そもそも抽出できなかった旨をプランに記載したら良いのでは。	・本編P.40及び資料編P.65に関係自治体へのヒアリング結果を踏まえて、シミュレーション結果の修正や抽出除外等の必要な調整を行った旨を記載しました。
12	推進方針	・推進方針の前書きの位置付けがよくわからなかったため、はじめに道の基本方針としてどう考えているのか示すことを検討してほしい。	<p>・本編P.58～59の推進方針を「基本方針」、「広域連携の進め方」、「当面の取組」の3項目としました。</p> <p>また、「基本方針」には、第2章「現状分析と将来推計」の結果を元に将来的にどの程度厳しい状況となるか具体的な数値をもって記載するとともに、シミュレーション結果や地域の実情などを踏まえて、ソフト面・ハード面での広域連携を基本に取組を推進する旨を記載しました。</p>
13	推進方針	・「ますます厳しい状況となることが見込まれています。」と書かれているが、ここまでの結果をもっと活用しながら書いた方が良いかと思う。どの程度厳しいのか検討した結果を盛り込み書いてほしい。	
14	推進方針	・シミュレーションの結果としては、各考察に重要なポイントが書かれているが、各考察は検討した全ての項目について触れた上で、推進方針で道として取り上げていく重要な項目をあげていく方が良いかと思う。現状、推進方針だけでは、何を検討していけば良いのかわからない。	
15	推進方針	・推進方針の内容をソフトとハードで変えているが、よく読まなければ違いがわからないため、ポイントを整理し、わかりやすく示してほしい。	・本編P.58～59の「広域連携の進め方」に、ソフト面では比較的高い削減結果となった業務や地域、経営改善の取組の必要性が高い地域などを対象に積極的に連携を推進すること、ハード面を含め、シミュレーション結果だけでなく、地域の実情に応じて最適な内容を検討していくといった広域連携の進め方について掘り下げて記載しました。
16	推進方針	・どこの地域で何をやるというのは、合意がないと書けないことだと思うが、これから検討するに当たって、何を考えなければならないのか、特に道として何がおすすめなのかということを書けるのではと思う。	・ソフト面についてはシミュレーションの結果、比較的削減効果の高かった業務である「水道施設の維持管理」「水道料金関係事務」「水道メーターの購入」などを対象として積極的に推進する旨を記載しました。